

京都三大学教養教育共同化の取組



京都工芸繊維大学



京都府立大学



京都府立医科大学



京都三大学
教養教育研究・推進機構

Institute of Liberal Arts and Sciences

取組の経過を踏まえた共同教育推進の要点

■ 教養教育の共有の理念・目標を設定

■ 強力な運営体制(マネジメント体制)

■ 学年暦の統一、カリキュラム・授業内容の調整

■ 文部科学省・京都府の支援

■ 拠点整備(教養教育共同化施設の建設)

京都三大学の概要



京都工芸繊維大学

京都工芸繊維大学は、明治32年(1899年)に設立された京都蚕業講習所及び明治35年(1902年)に設立された京都高等工芸学校に端を発する110余年の歴史の中で、「知と美と技」を探究する独自の学風を築き上げてきた。現在は、工芸科学部の1学部からなり、生命物質科学域、設計工学域、造形科学域からなっている。



京都府立大学

京都府立大学は、明治28年(1895年)に設立された京都府簡易農学校に端を発する。京都府簡易農学校は後に京都府立農林専門学校と改称された。昭和24年(1949年)4月に、京都府立農林専門学校と京都府立女子専門学校を前身として開設された西京大学が、昭和34年(1959年)に京都府立大学と改称して誕生した。現在は文学部、公共政策学部、生命環境学部の3学部11学科からなっている。



京都府立医科大学

京都府立医科大学は、明治5年(1872年)に、府民自らの寄付によって、京都東山の青蓮院に建設された療病院から誕生した日本最古の医科大学である。140年の歴史の中で培った「人間愛」「地域貢献」「国際的視野の涵養」という教育理念は今も変わることなく引き継がれ、人々の健康に貢献する人材を育成し、全人的な医療を実践してきた。現在は、医学部医学科と医学部看護学科の1学部2学科からなっている。

京都三大学の立地状況

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学は、京都の下鴨神社を取り囲むような形で位置する。

それぞれの最寄駅は、京都市営地下鉄烏丸線にあり、京都工芸繊維大学が松ヶ崎駅、京都府立大学が北山駅、京都府立医科大学が丸太町駅である。

三大学ともに距離も近く、相互の行き来が十分可能である。

三大学の学生が学ぶ「教養教育共同化施設『稻盛記念会館』」は、北山駅徒歩5分、京都府立大学下鴨キャンパス内に立地する。



三大学教養教育共同化の沿革

—「教養教育共同化施設」の建設による学生交流の促進—

- 平成18年10月、三大学の連携に関する包括協定を締結
- 平成19年4月、三大学で教養教育の単位互換をスタート
- 平成21年、夏期休暇中に三大学で合同授業実施
- 平成23年1月、三大学で教養教育の共同化・施設利用推進の覚書締結
- 平成23年度、三大学教養教育部会で共同化のあり方を検討
- 平成24年度、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択
- 平成24年10月、「京都三大学教養教育研究・推進機構」を設置
- 平成26年4月、共同化授業(月曜日午後)スタート
- 平成26年夏、教養教育共同化施設「稲盛記念会館」竣工

後期授業から共同化施設で授業開始。



三大学学生交流が一気に進展

- 平成27年6月、これまでの取組が評価され文部科学省の中間評価で「A」評価
- 平成29年4月、共同化授業を月曜日午前に拡大

教養教育共同化施設「稲盛記念会館」



共同化の趣旨

京都三大学は、それぞれ100年を超える歴史を持ち、国内外で活躍する有為な人材を多く輩出してきたが、変化の激しい今日にあって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、次の3点をねらいとして取り組む。

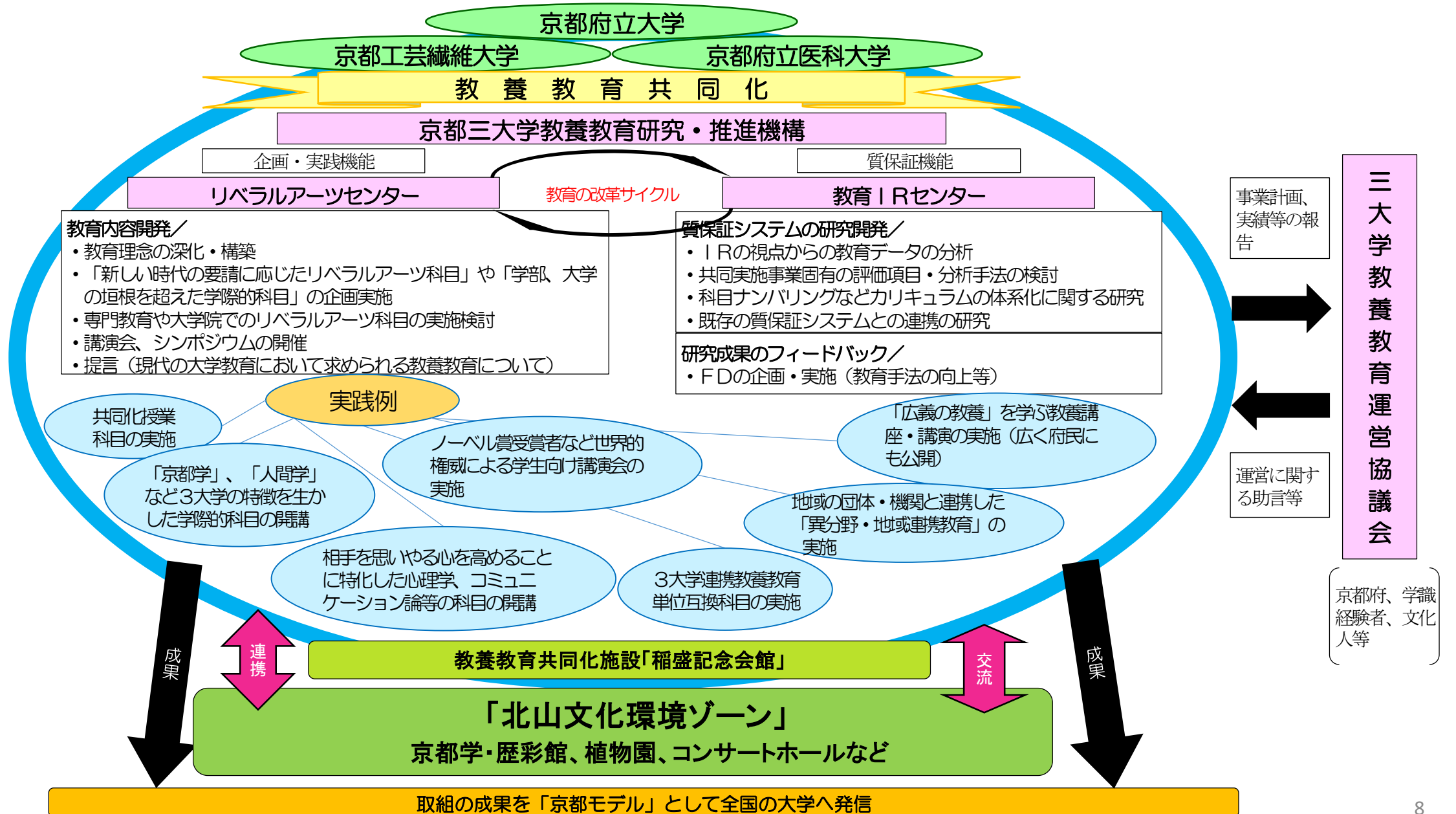
- ① 三大学は個々には規模が小さく、各大学で提供できる科目には限りがあるため、各大学の強みと特徴を生かした科目を提供しあい、学生の科目選択の幅を広げ、学修意欲を一層高めること
- ② 文系、理工系、医学系の専門分野や将来の志望の異なる三大学の学生が授業で混在し、多様な視点や価値観を交流して、一緒に学ぶ学修空間を創り出すこと
- ③ 学生間での交流や討論、共同学修が進むよう学生参画型の授業を広げていくこと

教育の目標

グローバル化や少子高齢化の進展など課題が山積する中で、多様な事象に関心を持ち、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性を持つ人材の育成を目指して次の3点から取組を進める。

- A) 人文・社会・自然の諸分野の学術体系を俯瞰しながらこれらの基礎を幅広く学習し、学術への高い関心を育てる
- B) 世界の人々の多様な生き方を感じ、人としての豊かな感性や倫理観を拡張する
- C) 日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習熟する

教養教育共同化による「新しい時代の要請に応じた教養教育」の実践



平成29年度三大学教養教育研究・推進機構 運営委員会

大学名	三大学教養教育研究・推進機構 運営委員会							
	担当副学長		リベラルアーツセンター		教育IRセンター		委員長が必要と認める者	
	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
京都工芸繊維大学	理事・副学長	大谷 芳夫	基盤科学系 教授	人見光太郎	センター長 電気電子工学系 教授	萩原 亮		
京都府立医科大学	副学長	奥田 司	生物学 教授 教養教育部長	小野 勝彦	物理学 教授	上原 正三	学生部長 看護学科長	田中 秀央 岩脇 陽子
京都府立大学	運営委員長 副学長 (教務部長)	野口 祐子	センター長 生命環境学部 生命分子化学科 教授	石田 昭人	公共政策学部 福祉社会学科 教授	中村 佐織	教養教育センター長	菱田 哲郎
京都三大学教養教育 研究・推進機構			特任教授 播磨 弘				京都府公立大学法人 副事務総長	藤澤 正典

- 共同化科目・履修者数の増
- 主体的な学びを促す教養科目の展開

学生の科目選択幅が大幅拡大

➤ 共同化科目数

初年度(26年度) **68**科目

27・28年度 **74**科目



29年度 **80**科目に拡大

➤ 学生の科目選択幅は各大学で **2.3~5.2倍** に拡大

大学名	科目数		倍 数 (29/25)
	共同化前(25)	今年度(29)※	
府立大学	42	112	2.7
府立医大	医学科	34	2.9
	看護学科	17	5.2
工芸繊維大学	54	123	2.3

※共同化科目(80科目)と各大学独自の教養科目の計

共同化授業履修者数・学生交流率が向上

年度	履修者数(人)	交流率(%)
26	5,896	26.6
	(前期 3,245 後期 2,651)	(前期 10.0 後期 48.0)
27	6,637	38.4
	(前期 4,122 後期 2,515)	(前期 35.6 後期 43.2)
28	7,257	42.6
	(前期 4,494 後期 2,763)	(前期 42.6 後期 42.6)
29	7,703	45.7
	(前期 4,862 後期 2,841)	(前期 45.4 後期 46.3)

※交流率:科目提供大学以外の大学の履修者数を当該科目全履修者数で割った値



府立大学の新生ガイダンス
(京都学・歴彩館にて)

年度別履修者数

区分		科目提供大学(科目数は29年度実施分)					計 〔80科目〕	
		年度	工織大 〔31科目〕	府立大 〔24科目〕	医科大 〔12科目〕	機構 〔13科目〕		
履修者 延べ人数 (人)	工織大	②9	1,676	1,381	355	228	3,640	
		②8	1,746	1,207	399	123	3,475	
		②7	1,589	922	383	163	3,057	
		②6	1,925	481	173	91	2,670	
	府立大	②9	1,007	1,871	280	210	3,368	
		②8	889	1,817	262	175	3,143	
		②7	714	1,891	291	150	3,046	
		②6	653	1,858	174	116	2,801	
	医科大	②9	93	181	369	52	695	
		②8	58	126	404	51	639	
		②7	40	62	382	50	534	
		②6	14	15	384	12	425	
	計	②9	2,776	3,433	1,004	490	7,703	初年度比 1.3倍の増
		②8	2,693	3,150	1,065	349	7,257	
		②7	2,343	2,875	1,056	363	6,637	
		②6	2,592	2,354	731	219	5,896	

平成30年度 京都三大学教養教育共同化カリキュラム(82科目)

人間と文化 29科目

《人間と歴史》

- ・哲学
- ・比較宗教学
- ・宗教と文化
- ・日本史
- ・東西文化交流史
- ・アジアの歴史と文化
- ・ヨーロッパの歴史と文化

《文化・芸術》

- ・ラテン語
- ・西洋文化論
- ・日本文学Ⅰ
- ・日本文学Ⅱ
- ・日本近現代文学
- ・西洋文学論
- ・文芸創作論
- ・美と芸術
- ・日本近代精神史
- ・フランス語圏の文化とジャポニスム
(2回生以上)
- ・映画で学ぶ英語と文化(3回生以上)
- ・映画で学ぶドイツ語と文化(3回生以上)

《京都学》

- ・京都の歴史Ⅰ
- ・京都の歴史Ⅱ
- ・京都の文学Ⅰ
- ・京都の文学Ⅱ
- ・京の意匠
- ・英語で京都(3回生以上)
- ・京都学・歴彩館ゼミ(2回生以上)

《リベラルアーツ・ゼミナール》

- ・現代イスラーム世界の文化と社会
- ・感性の実践哲学
- ・科学と思想
- ・京都学・歴彩館ゼミ(2回生以上)(再掲)

人間と社会 26科目

《社会科学の基礎》

- ・人文地理学Ⅰ
- ・人文地理学Ⅱ
- ・社会学Ⅰ
- ・社会学Ⅱ
- ・政治学
- ・国際政治
- ・経済学入門
- ・法学

《人間と社会》

- ・生活と経済
- ・心理学
- ・発達心理学
- ・現代社会と心
- ・現代社会とジェンダー
- ・現代教育論
- ・食環境をめぐる国際社会と日本
- ・環境と法

《京都学》

- ・近代京都と三大学
- ・京の産業技術史
- ・現代京都論
- ・医史学
- ・京都の経済

《リベラルアーツ・ゼミナール》

- ・現代社会に学ぶ問う力・書く力
- ・社会科学の学び方
- ・現代社会と映画製作
- ・世界はいま
- ・経営哲学(2回生以上)

人間と自然 27科目

《自然科学の基礎》

- ・物理学Ⅰ
- ・化学概論Ⅰ
- ・化学概論Ⅱ
- ・生物学概論Ⅰ
- ・生物学概論Ⅱ
- ・生命科学講話
- ・地球の科学

《人間と自然・科学》

- ・人と自然と数学α
- ・人と自然と数学β
- ・人と自然と物理学
- ・生物学的人間学
- ・科学史
- ・環境問題と持続可能な社会
- ・食と健康の科学
- ・キャンパスヘルス概論
- ・時間生物学特論(3回生以上)
- ・エネルギー科学
- ・現代科学と倫理
- ・医学概論(2回生以上)
- ・環境論

《京都学》

- ・京都の自然と森林
- ・京都の農林業
- ・京野菜を栽培する
- ・京都の防災と府民

《リベラルアーツ・ゼミナール》

- ・製品の機能から科学を学ぶ
- ・レーザで測る、創る、楽しむ
- ・意外と知らない植物の世界
- ・京野菜を栽培する(再掲)

リベラルアーツ・ゼミナール

13科目(再掲)

- ・現代イスラーム世界の文化と社会
- ・感性の実践哲学
- ・科学と思想
- ・京都学・歴彩館ゼミ(2回生以上)
- ・現代社会に学ぶ問う力・書く力
- ・社会科学の学び方
- ・現代社会と映画製作
- ・世界はいま
- ・経営哲学(2回生以上)
- ・製品の機能から科学を学ぶ
- ・京野菜を栽培する
- ・意外と知らない植物の世界
- ・レーザで測る、創る、楽しむ

京都学 16科目(再掲)

- ・京都の歴史Ⅰ
- ・京都の歴史Ⅱ
- ・京都の文学Ⅰ
- ・京都の文学Ⅱ
- ・京の意匠
- ・英語で京都(3回生以上)
- ・京都学・歴彩館ゼミ(2回生以上)
- ・近代京都と三大学
- ・京の産業技術史
- ・現代京都論
- ・医史学
- ・京都の経済
- ・京都の自然と森林
- ・京都の農林業
- ・京野菜を栽培する
- ・京都の防災と府民

主体的な学びを促す教養科目の展開

－ゼミナール・京都学・語学(異文化理解)・高度教養教育科目等の体系化－

①少人数での討論等を中心とした「リベラルアーツ・ゼミナール」

②「京都学」

③上回生対象の高度教養教育科目

④語学・異文化理解科目

⑤フィールドワークを取り入れた科目

⑥三大学の特色を活かした科目

30年度各大学提供科目数(全82科目)

大 学	科目数
工織大	31
府立大	24
府立医大	12
機 構	15

① 少人数での討論等を中心とした「リベラルアーツ・ゼミナール」(26)7科目 (27)・(28)9科目 (29)11科目 (30)13科目)

- ・現代社会に学ぶ問う力、書く力
- ・社会科学の学び方 ・科学と思想
- ・製品の機能から科学を学ぶ
- ・経営哲学(2回生以上)
- ・京都学・歴彩館ゼミ(2回生以上) (29)新設
- ・レーザで測る、創る、楽しむ (30)新設
- ・意外と知らない植物の世界 (30)ゼミナール化

- 【集中講座】
- ・現代社会と映画製作
 - ・世界はいま
 - ・現代イスラーム世界の文化と社会
 - ・感性の実践哲学
 - ・京野菜を栽培する (29)新設



授業アンケート

- 現代社会のことを書いたり、意見を言ったりする機会が少ないので楽しかった。大学で学んでいるという実感が一番強かった。
- この授業のように、テーマを絞っての教養教育こそ教養課程で重視されるべきで、短期集中というのも良かった。2回生以降もぜひ参加したい。
- 一つ一つの資料、授業が非常に分かりやすく、考える力を養う教養科目として最も体に染み込む講義でした。社会人ならではの視点が自分の大学での生き方に新しい指針を与えてくれたように思いました。他大学の学生の重要な意見も聞けたのでよかったです。
- 思考の仕方、論理の立て方など今まできちんと教わらなかったことが沢山学べた。毎週の授業がたのしみでした。受講してよかったですと思います。これからも自分の力で問題意識を身につけ解決に向けて考える力を養っていきたいです。

② 「京都学」(26)10科目 (27)・(28)12科目 (29)15科目 (30)16科目)

- ・近代京都と三大学 ・英語で京都(3回生以上)
- ・京都の歴史Ⅰ ・京都の歴史Ⅱ
- ・京都の文学Ⅰ ・京都の文学Ⅱ ・現代京都論
- ・京都の自然と森林 ・京都の農林業
- ・京の産業技術史 ・京の意匠 ・医史学
- ・京都学・歴彩館ゼミ(2回生以上) (29)新設
- ・京野菜を栽培する (29)新設
- ・京都の経済 (29)新設 — 京都銀行協力 —
- ・京都の防災と府民 (30)新設

授業アンケート

- 京都について様々な方面からの学びがあって、とても面白かったです。
- 三大学合同授業のおかげで、他大学の興味ある講義を受講できて良かった。
- 医術、医学の歴史を知ることができてとても視野が広がりました。
- 京都の抱える現代の諸課題について、ジャンルごとに説明を受けれて理解しやすかった。
- 自分の住む京都を見つめなおすよい機会となりました。
- 京都の新たな一面を見ることが出来て、いっそう京都に興味をもてました。
- 京都の町づくりについて幅広く学べて良かった。
- 普段学べない科目を受講することができて知識が広がった。府立大に興味をもった。府立大の大学院に進もうかなと思うようになった。(工織大生)

③上回生対象高度教養教育(②7・②83科目 ②9・③08科目)

- ・経営哲学(2回生以上) ・英語で京都(3回生以上)
- ・時間生物学特論(3回生以上)
- ・映画で学ぶ英語と文化(3回生以上) ②9新設
- ・映画で学ぶドイツ語と文化(3回生以上) ②9新設
- ・フランス語圏の文化とジャポニズム(2回生以上) ②9新設
- ・京都学・歴彩館ゼミ(2回生以上) ②9新設
- ・医学概論(2回生以上) ②9新設

④語学・異文化理解(②63科目 ②7・②84科目 ②9・③07科目)

- ・ラテン語 ・英語で京都(3回生以上)
- ・映画で学ぶ英語と文化(3回生以上) ②9新設
- ・映画で学ぶドイツ語と文化(3回生以上) ②9新設
- ・フランス語圏の文化とジャポニズム(2回生以上) ②9新設
- ・世界はいま ・現代イスラーム世界の文化と社会

授業アンケート

- ラテン語に関する様々なことを聞けたので、ただ単にラテン語を勉強するより、充実していました。
- 写真や英語と関連して教えてもらったのでとても楽しめました。教養になりました。

⑤フィールドワークを取り入れた科目(②62科目 ②7・②83科目 ②9・③04科目)

- ・意外と知らない植物の世界 **—府立植物園との連携—**
- ・京都の自然と森林 **—府立植物園との連携—**
- ・感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミ) **—寺社等市内一円—**
- ・京野菜を栽培する(リベラルアーツ・ゼミ) ②9新設 **—和食文化関連—**

授業アンケート

- フィールドワークはとても得られるものが多かったので、もっと取り入れるべきだと思いました。
- あまりやったことのない感じの授業で楽しかったです。



⑥三大学の特色を活かした科目

工織大 :「京の意匠」「京の産業技術史」「美と芸術」「人と自然と物理学」ほか
府立大 :「食と健康の科学」「京野菜を栽培する」「京都の歴史 I・II」「京都の自然と森林」「京都の農林業」ほか
府立医大:「医史学」「生物学的人間学」「時間生物学特論(3回生以上)」「医学概論(2回生以上)」 ほか

30年度後期 「意外と知らない植物の世界」講義概要(三大学教員によるリレー講義)

講義場所: 稲盛記念会館講義室・府立植物園

	開講日	講義概要	担当教員	備考
1	30年10/1	世界の植物園、日本の植物園、その歴史と発展過程の必然性	松谷 茂(府立大)	講義室
2	10/15	衣類の色と天然染料、それらの歴史	浦川 宏(工繊大)	講義室
3	10/22	海藻(海草)は植物か? それらから得られる寒天について	浦川 宏(工繊大)	講義室
4	10/29	日本における野草の多様性と薬効のある植物の観察	松谷 茂(府立大)	府立植物園
5	11/5	世界における野草の多様性と薬効のある植物の観察	松谷 茂(府立大)	府立植物園
6	11/12	植物をモチーフとした文様について知る	中野仁人(工繊大)	講義室・府立植物園
7	11/19	植物をモチーフとした文様をデザインする	中野仁人(工繊大)	講義室
8	11/26	樹木の多様性と薬効のある樹木の観察	松谷 茂(府立大)	府立植物園
9	12/3	動物と植物の関わりや違い、その有効利用等について学ぶ	後藤仁志(府立医大)	講義室
10	12/10	プラントハンターを魅了した日本の植物	野口祐子(府立大)	講義室
11	12/17	植物の生き抜く戦略—木本・草本の不思議と謎	松谷 茂(府立大)	講義室
12	31年1/7	日本庭園と植物	矢ヶ崎善太郎(工繊大)	講義室
13	1/15	熱帯植物の多様性の観察	松谷 茂(府立大)	府立植物園・温室
14	1/21	日本建築と植物	矢ヶ崎善太郎(工繊大)	講義室
15	1/28	熱帯植物 & 厳寒期の樹木の生き抜く戦略の観察	松谷 茂(府立大)	府立植物園・温室

30年度後期 リベラルアーツ・ゼミナール 「京都学・歴彩館ゼミ」

講義場所：京都学・歴彩館

	開講日	講義概要	担当教員
1	30年10/1	ガイダンス、授業の進め方の説明	藤本仁文(府立大)ほか
2	10/15	京都学・歴彩館へようこそ ―所蔵資料とサービスの概要―	京都学・歴彩館資料課職員
3	10/22	京都学・歴彩館の活用法 ―京都の企業研究―	京都学・歴彩館資料課職員
4	10/29	地域の歴史を調べよう	山田淳平(京都学・歴彩館)
5	11/5	京都の町と暮らし	山田淳平(京都学・歴彩館)
6	11/12	江戸時代の京都近郊	山田淳平(京都学・歴彩館)
7	11/19	モノとしての古典籍を見よう	張 凌志(府立大)
8	11/26	古典籍が活字になるまで	張 凌志(府立大)
9	12/3	古典籍のプロフィールを作成してみましよう	張 凌志(府立大)
10	12/10	中井家と近世京都	登谷伸宏(府立大)
11	12/17	建築指図を読む	登谷伸宏(府立大)
12	31年1/7	近代行政文書について(仮)1	京都学・歴彩館資料課職員
13	1/15	近代行政文書について(仮)2	京都学・歴彩館資料課職員
14	1/21	日本文化の中の大陸文化 ―古典籍の世界から1―	大賀晶子(府立大)
15	1/28	日本文化の中の大陸文化 ―古典籍の世界から2―	大賀晶子(府立大)

30年度後期「京都の経済」(京都銀行職員を迎えた講義)

講義場所: 稲盛記念会館講義室

	開講日	講義概要	担当教員
1	30年10/1	ガイダンス	京都銀行金融大学校、公務・地域連携部 川勝健志(府立大)
2	10/15	京都銀行の成長と京都経済の変遷	京都銀行金融大学校、川勝健志(府立大)
3	10/22	地域経済と京都銀行の経営戦略	京都銀行金融大学校、川勝健志(府立大)
4	10/29	地元企業からみた京都経済	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
5	11/5	地方公共団体との連携と地域金融機関の使命	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
6	11/12	地方創生に向けた地域金融機関の取組(前編)	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
7	11/19	地方創生に向けた地域金融機関の取組(後編)	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
8	11/26	観光支援への取組(前編)	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
9	12/3	観光支援への取組(後編)	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
10	12/10	ベンチャー企業支援の取組	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
11	12/17	M&A支援の取組	京都銀行営業本部(M&A推進室)、川勝健志(府立大)
12	31年1/7	6次産業化支援への取組	京都銀行公務・地域連携部、川勝健志(府立大)
13	1/15	海外展開支援への取組	京都銀行国際営業部、川勝健志(府立大)
14	1/21	地域経済の発展に向けて～経済界が求めている人材について～	京都銀行人事総務部、川勝健志(府立大)
15	1/28	総括	川勝健志(府立大)

- 学生主体の探求活動の展開
- 教養教育共同化フォーラムの開催

学生主体の探求活動の展開

—三大学の学生によるシンポジウム・夏季宿泊研修の実施—

27年度

学生によるシンポジウム開催(平成27年11月8日) 「人・サル・植物の関係から知の源流と未来を探る」



【研究発表テーマ】

- ①「触れているようで触れられている！？—植物の生存戦略」
- ②「味覚から考える食への工夫—サル、ヒト、植物とおいしさ」
- ③「Hand in hand —協調性を考える」
- ④「高山における環境の変化と適応の連鎖—比叡山を通してヴィルンガ山地の未来を考える」

- ・当日は、山極 壽一氏(京大総長)、松谷 茂氏(府立大客員教授・府立植物園名誉園長)をゲストコメンテーターに迎え、三大学学生・教職員のほか、京都・大阪の高校生も来場。
- ・準備段階では、府立植物園、市立動物園、京大博物館、延暦寺などを度々訪問し、専門家の意見を仰ぎつつ、熱心に探求活動・フィールドワークに取り組む。



■ 学生による新入生歓迎講演会開催(平成28年4月18日)

〈基調講演〉 内田 樹 氏(京都精華大学客員教授)

「なぜいま民主主義が問われるのか? ~若者に求められる批判的思考力~」

〈学生との討論〉「これからの日本で大人になっていく私たちについて」

■ 綾部市で宿泊研修実施(平成28年9月15~16日) 宿泊:綾部市里山交流研修センター

地域おこし活動団体や行政担当者との交流と新規事業の提案

・ 栃の森の保護育成と特産品創出



・ 黒谷和紙の製作体験



・ 民泊活動の調査



・ 課題の洗い出しと新規事業の提案



4/18, 内田樹が、三大学に来る。

下流志向
内田樹

レバナス
成の
現象学

内田樹
京都精華
大学の

なぜいま民主主義が問われるのか?
~若者に求められる批判的思考力~

プログラム
第一部 基調講演
内田樹「なぜいま民主主義が問われるのか?
~若者に求められる批判的思考力~」
第二部 学生との討論
「これからの日本で大人になっていく
私たちについて」

会場: 京都府立大学、
教養教育共同化施設
「福城記念会館」1F 104教室
日時: 4月18日(月) 18:00~20:30
申込不要。参加費無料。
*3名、同人等にて、議室を確保。

内田樹
おじさんの
思考

29年度

■ 学生による新入生歓迎講演会準備活動(平成29年夏～)

リベラルアーツ・ゼミで題材とした映画に関する講演会(30年6月予定)開催準備
・事前勉強として映画上映会や発表会を実施



■ 和東町で宿泊研修実施(平成29年9月14～15日)

地域おこし活動団体や町長・役場職員との交流と和東町への提案

・地域起こしに頑張る皆さんとの交流



・和東町長・役場職員との意見交換



・課題の洗い出し・提案



「京都三大学教養教育共同化フォーラム」の開催

今、求められる教養教育 — 京都からの発信 —

三大学教養教育共同化事業で構築してきた「京都モデル」の到達点、三大学学生にとっての変化、教える側の手応えを示し共有することによって、今後の教養教育のあり方にひとつの指針を示す。

平成28年11月19日(土)

参加者：三大学関係者、三大学学生、全国の大学関係者、府民 約100名



【オープニング演奏】 京都三大学合同交響楽団

【基調報告Ⅰ】 「教養教育共同化-何をめざすか」

リベラルアーツセンター長・京都府立大学教授 石田昭人

【基調報告Ⅱ】 「教養教育共同化-質保証をめぐる」

教育IRセンター長・京都工芸繊維大学教授 大倉弘之

【三大学学生プレゼンテーション】

— 共同化授業や学生シンポジウム・講演会・合宿研修を通して学んだこと、
学びへの姿勢の変化等の発表 —

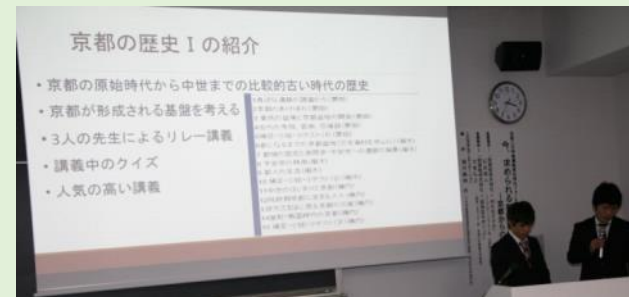
【講評】 三大学教養教育運営協議会専門委員 同志社大学副学長 圓月勝博氏



三大学学生プレゼンテーション

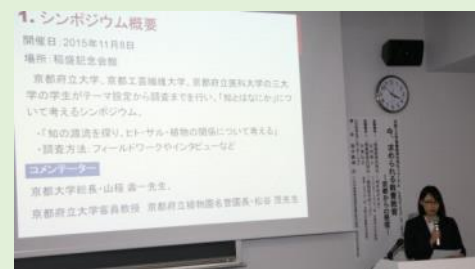
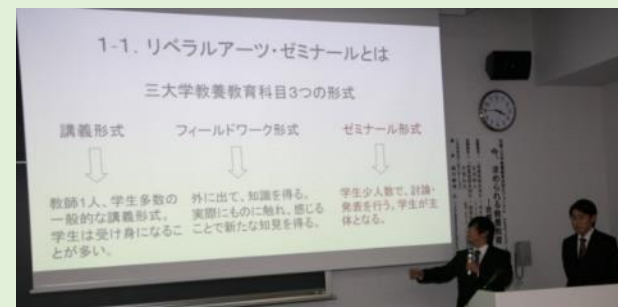
京都学「京都の歴史 I」

「意外と知らない植物の世界」



京都学「医史学」

ゼミ I 「感覚で探る問題解決の方法」



綾部市での宿泊研修



学生シンポジウム 「人・サル・植物の関係から知の源流と未来を探る」

新入生歓迎講演会

- 質保証の取組

共同化教養教育 質保証の取組

- 15 回の授業と試験日の保証(学年暦の統一)、共同化施設整備等
- 履修登録方法の改善 空き定員の再配分(⑳～)
- 共同化科目担当者会議の開催
- 各種アンケートの実施 (授業アンケート、教員アンケート、1年次生アンケート)
- 公開研究会等の開催
- 年度報告書の作成・活用

「共同化科目担当者会議」の開催

平成25年度

- ・25. 9.25 テーマ「共同化の理念・目的、進め方、事例研究等」
- ・25.11.26 テーマ「数学の教養教育科目について」 対象:自然科学系科目担当者
- ・25.12.12 テーマ「問う力・書く力を鍛える教養教育」 対象:人文・社会科学系科目担当者

平成26年度

- ・26.10. 1 テーマ 「対話とフィードバック」のある授業を目指して
- ・26.12.12 京都学担当者会議(新設科目等協議)

平成27年度

- ・27. 8. 5 テーマ 「多様な背景を持つ受講生と創る授業」
ー理系教養科目のカリキュラムをどう工夫するかー

平成28年度

- ・28.10.31 テーマ「共同化3年目を迎えて」ー授業で求められる配慮・工夫・成績評価の方法ー

平成29年度

- ・29.10.30 テーマ「多様な背景を持つ受講生と創る授業」



共同化科目全体を育てていくコミュニティとしての機能を発揮

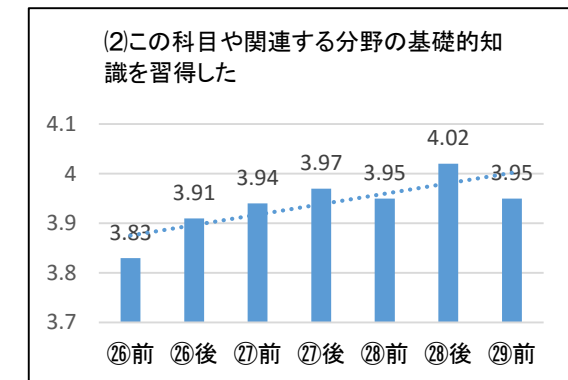
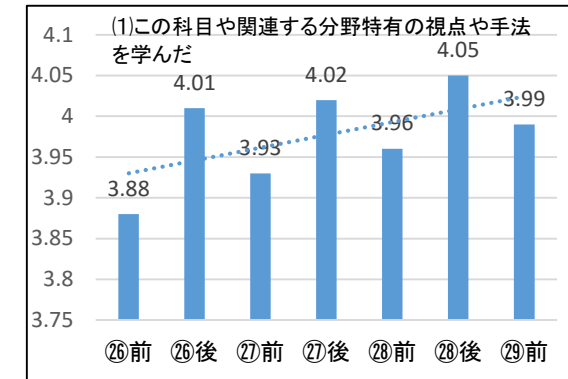


授業アンケート（各科目で実施）

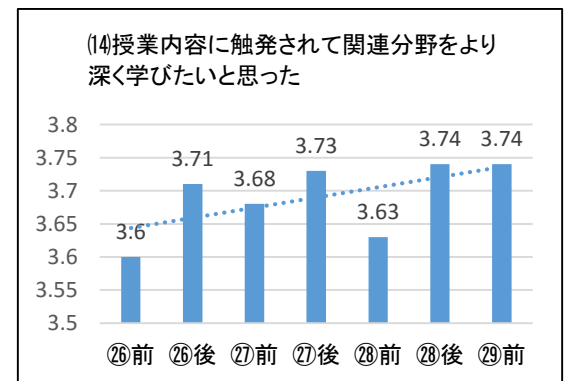
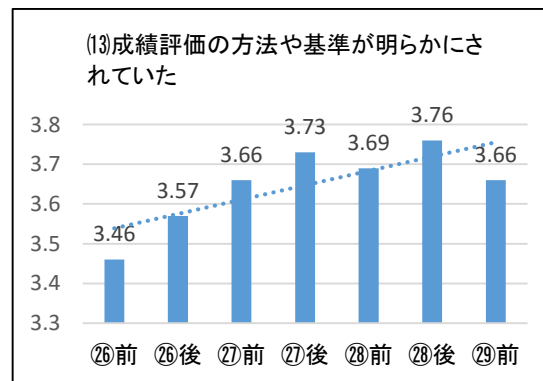
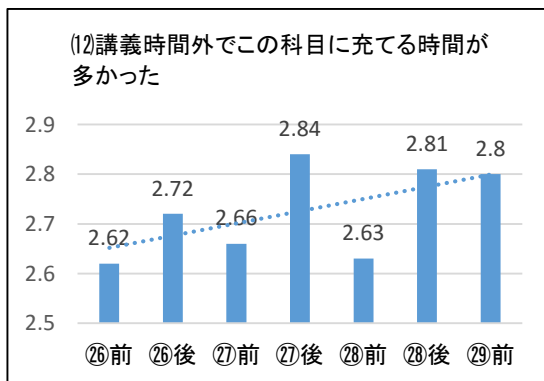
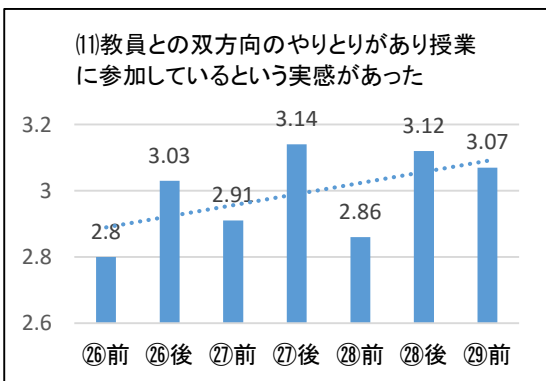
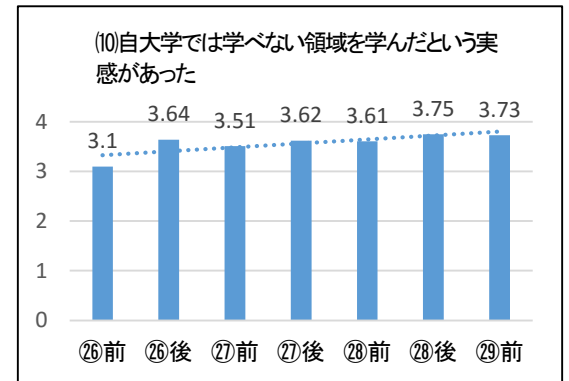
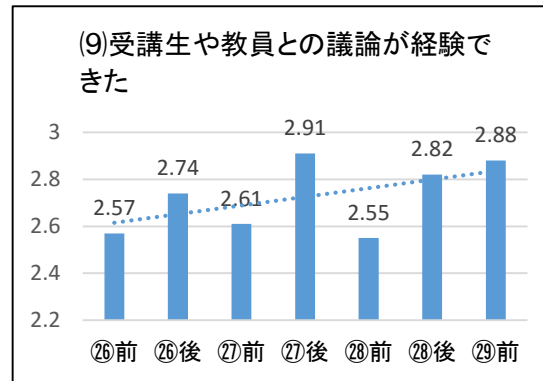
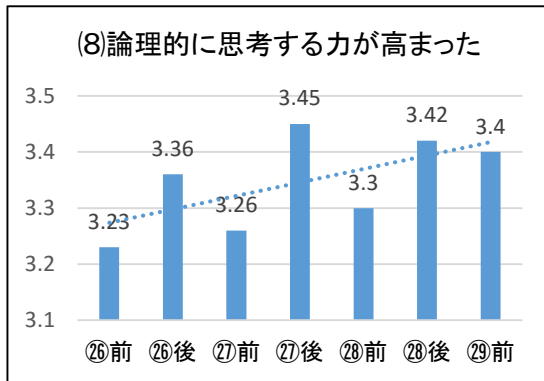
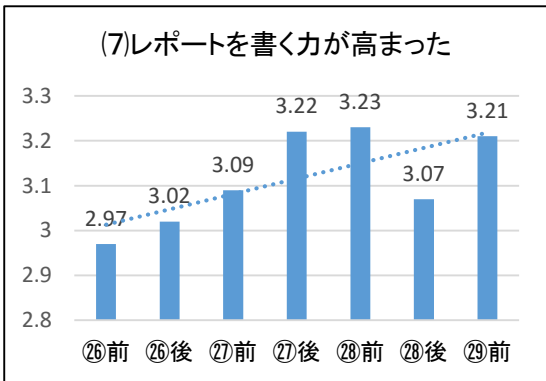
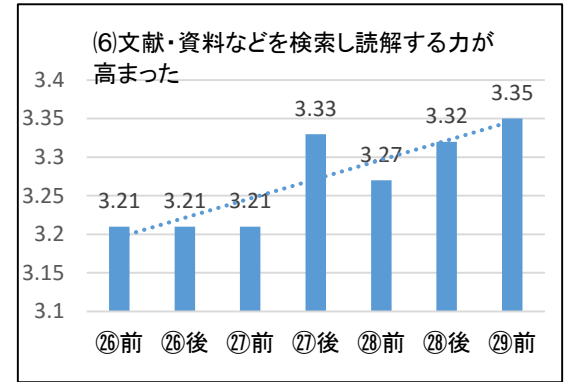
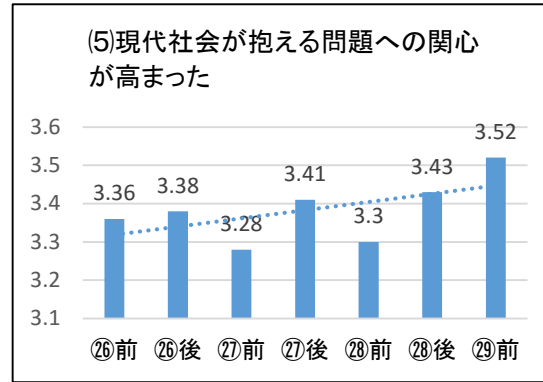
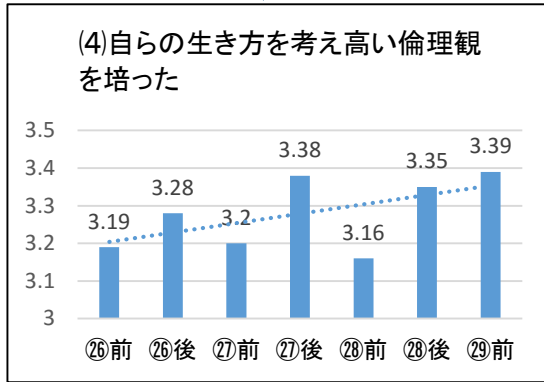
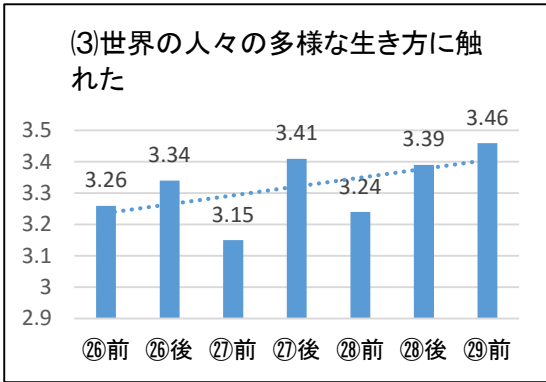
設問項目（14項目）

Ⅵ この科目を受講してどのような感想を持ちましたか。
次の各項目に5段階で答えてください。

	5 強く そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない
(1) この科目や関連する分野特有の視点や手法を学んだ	5	4	3	2	1
(2) この科目や関連する分野の基礎的知識を修得した	5	4	3	2	1
(3) 世界の人々の多様な生き方に触れた	5	4	3	2	1
(4) 自らの生き方を考え、高い倫理観を培った	5	4	3	2	1
(5) 現代社会が抱える問題への関心が高まった	5	4	3	2	1
(6) 文献・資料などを検索し、読解する力が高まった	5	4	3	2	1
(7) レポートを書く力が高まった	5	4	3	2	1
(8) 論理的に思考する力が高まった	5	4	3	2	1
(9) 受講生や教員との議論を経験できた	5	4	3	2	1
(10) 自大学では学べない領域を学んだという実感があった	5	4	3	2	1
(11) 教員との双方向のやりとりがあり、授業に参加しているという実感があった	5	4	3	2	1
(12) 課題や小テストなどのため、講義時間外でこの科目に充てる時間が多かった	5	4	3	2	1
(13) 成績評価の方法や基準が明らかにされていた	5	4	3	2	1
(14) 授業内容に触発されて、関連分野をより深く学びたいと思った	5	4	3	2	1



各年度(前期・後期)の平均値推移 教育機能・学生の学びの質の向上が認められる

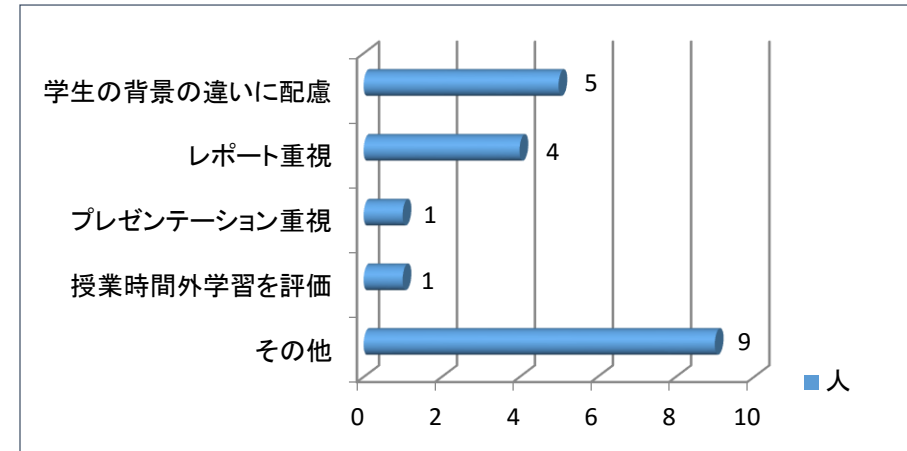


教員アンケート（29年2月下旬～3月上旬）

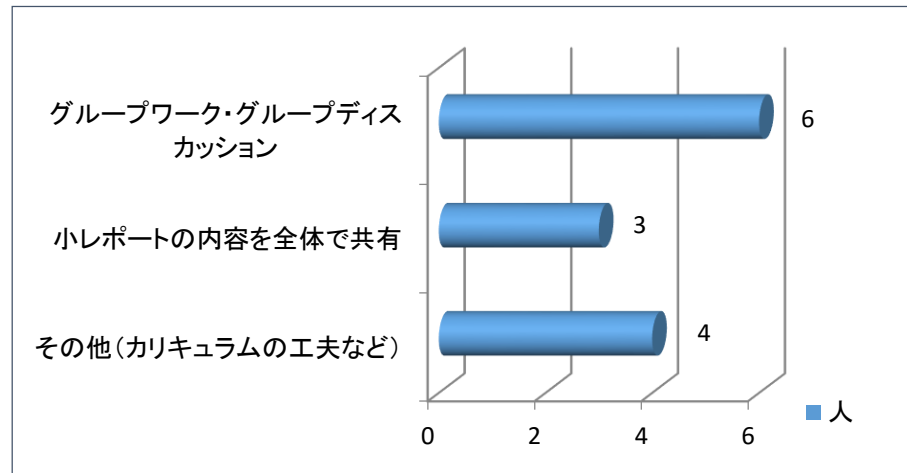
【主な質問項目】

- (1) 共同化科目の成績評価について、配慮・工夫したこと
- (2) 三大学の学生交流について、何か配慮・工夫したこと
- (3) 学生へのフィードバックについて、何か工夫したこと

(1)成績評価について、配慮・工夫したこと



(2)学生交流について、何か配慮・工夫したこと



(3)学生へのフィードバックについて、何か工夫したこと

